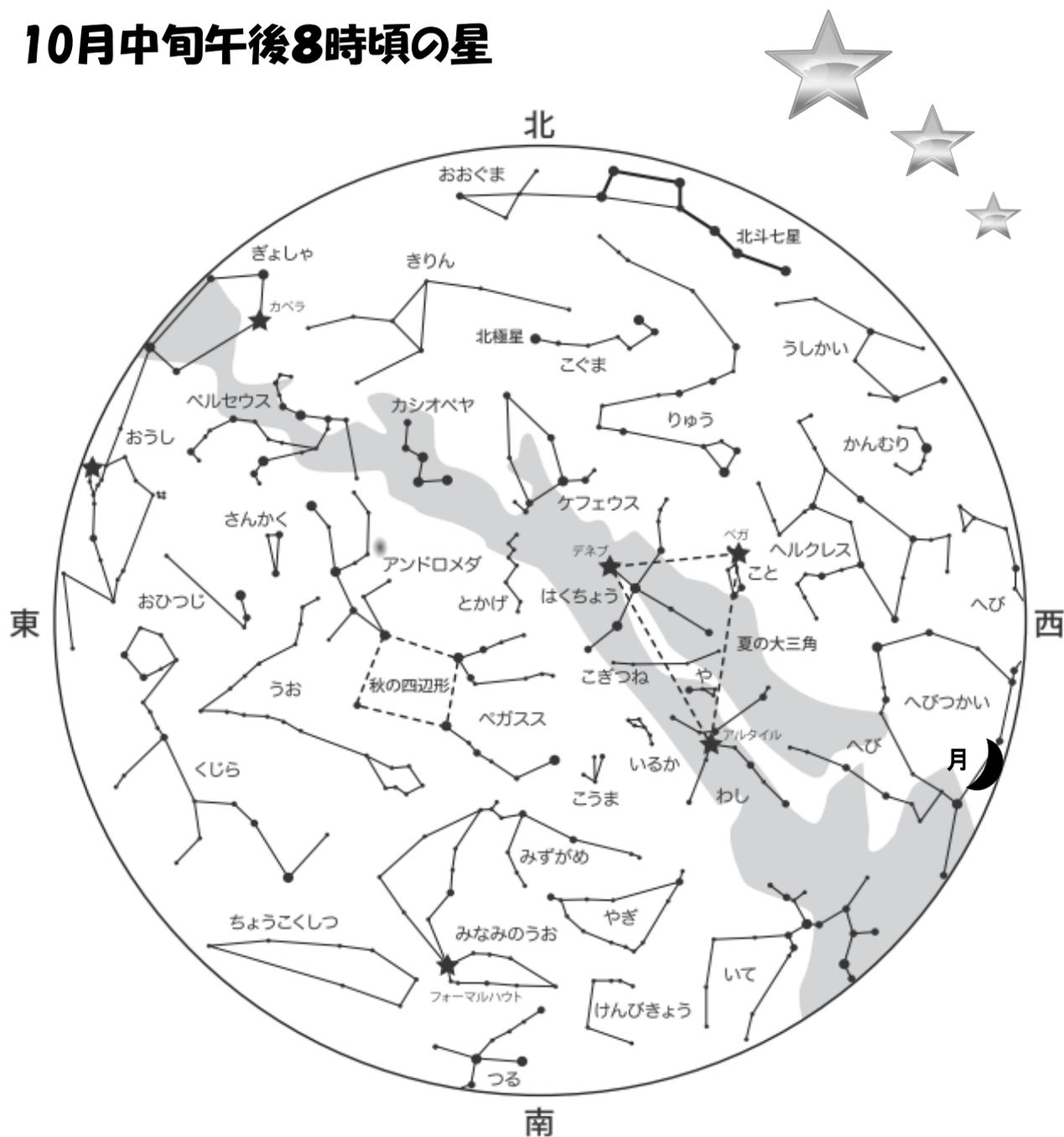


# 松江市立天文台 ~10月の天文教室~

2013年10月9日

10月の夕暮れ後は、夏と秋の星座が同時に楽しめます。  
しかし時間が経つにつれ「夏の大三角」が西に傾き、「秋の四辺形」を中心にペガサス、アンドロメダ、カシオペヤなどギリシャ神話を代表する星々が空を飾るようになります。  
1等星が少ない秋の空ですが、澄んだ空気の下で見るとやはりきれいですね。

## 10月中旬午後8時頃の星



10月中旬の午後8時頃の星空です。月は10月9日の位置を表示していますが、見かけの大きさは実際とは違います。

## ★月(月齢4)

今日の月は、明るく輝く金星に続いて夕暮れとともに西の地平線に沈んでいきます。

月は太陽の光を反射して輝いていますが、この時期は、月の欠けて見える部分が、地球から反射した太陽光に照らされて薄明るく見える現象「地球照」が見られます。



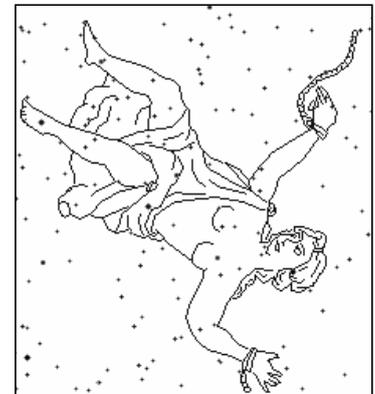
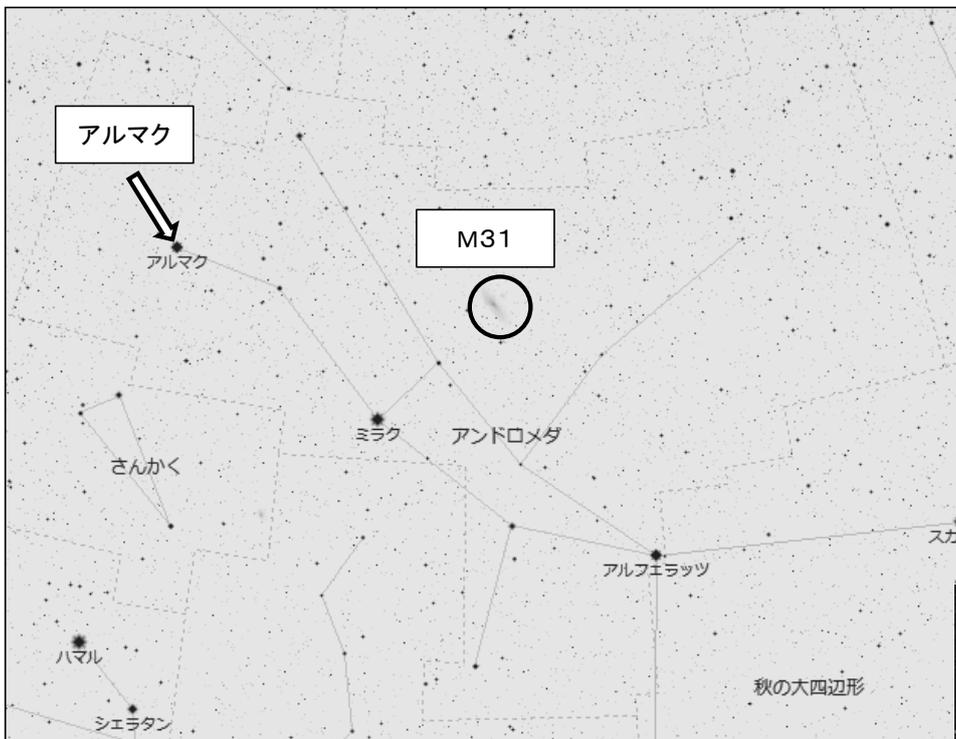
小型天体望遠鏡で見た月のイメージ  
実際に見ると上下左右がさかさまに見えます

## アンドロメダ座

アンドロメダ姫は、海神ポセイドンが遣わした怪物くじらティアマトへの「いけにえ」として海岸の岩に縛られます。

そこへ天馬ペガサスに乗った英雄ペルセウスが現れて、ティアマトを倒しアンドロメダ姫を救出した物語は、ギリシャ神話の中でも最も有名なスペクタクルなラブロマンスのひとつです。

そして何より、アンドロメダ大銀河の存在がこの星座を一層有名にしています。距離230万光年の彼方にあり、空の暗い所では、肉眼でもぼんやりした雲のように観ることができます。(距離データは「天文年鑑」より)



星座絵に描かれたアンドロメダ姫



M31アンドロメダ大銀河

$\gamma$ (ガンマ)星 アルマクは天体望遠鏡で拡大すると、濃いオレンジ色と青緑色のふたつの星に分かれて見えます。

色の対比が美しい二重星です。

次回の天文教室は

11月13日(水) 20時から21時(受付19時30分から)



Matsue Astronomy Club  
MAC 松江星の会